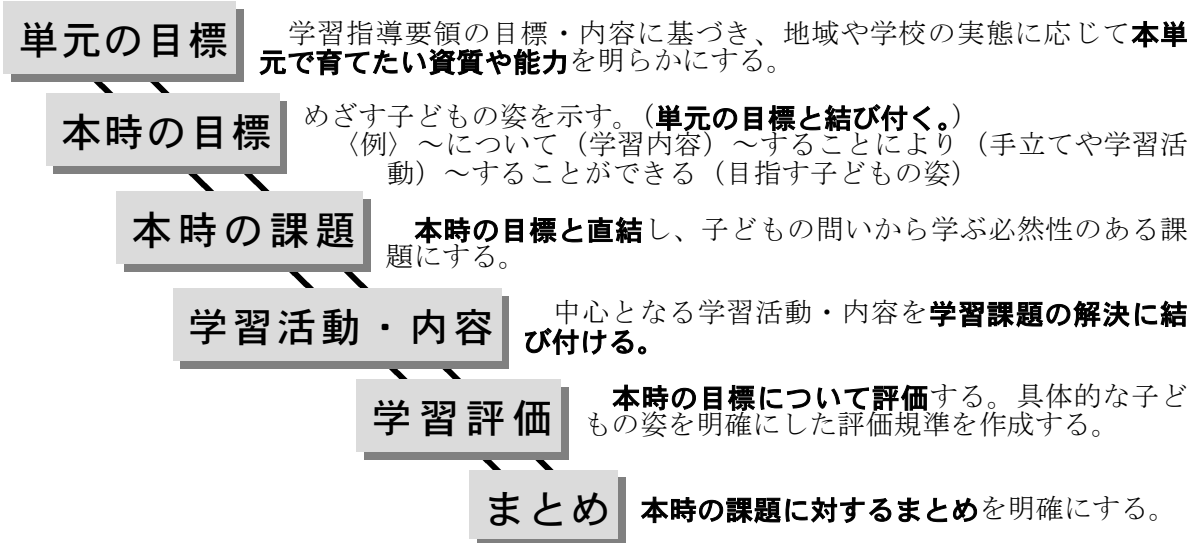


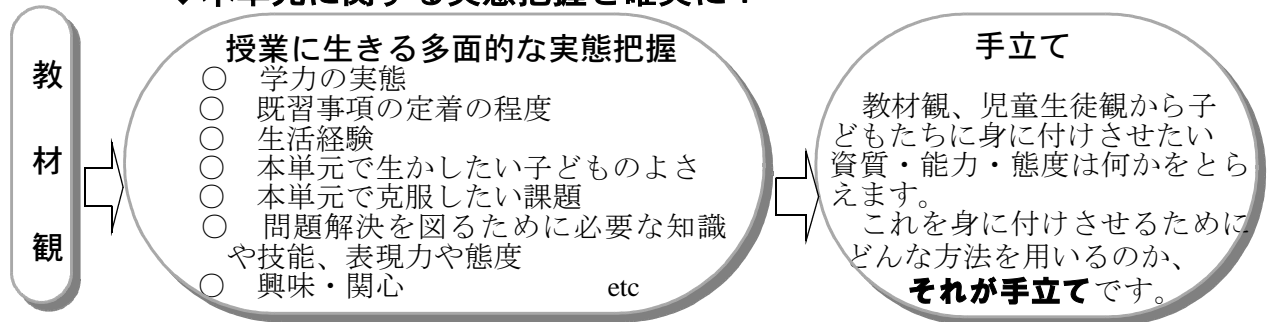
## ねらいからまとめまでの整合性を図り、 手立てを明確にした授業設計

### ☆指導構想の整合性は？



### ☆本時のめざす姿を具現するための手立てとは？

#### ◆本単元に関する実態把握を確実に！



#### <手立てが必要な場面>

- <導入>
  - A 学習課題の設定
- <展開>
  - B 課題解決の見通し
  - C 課題解決能力を伸ばす個に応じた働きかけ(自力解決)
  - D 思考の「共有」と「吟味」(学び合い)
- <終末>
  - E 学習の振り返り
  - F 学習内容の定着

#### <手立ての例>

- <導入>
  - 興味・関心を引き出す課題設定
    - A 具体物(実物)の活用
    - A 「実演」の提示
    - A 「ICT」の活用
  - 既習を活用した課題設定
    - A 体験活動の活用(見学や取材活動等)
    - A 統計、写真等の資料の活用
    - A 既習の振り返りから未習へ
- <展開>
  - B 既習事項や既有的経験の活用
  - B 解決の方法、視点
  - C つまずきに応じた支援(ヒントカード等)
  - C 理解が速い子どもを支援者として活用(ガイド学習、リーダー学習)
  - C 学習進度に応じた発展問題
  - CD 考えの交流を図る学習形態(ペア、小グループ等)
  - D 子どもの発言を生かした構造的な板書の活用
  - D 子どもの思考の流れに沿った発問
  - D 子どもの考えや発言をつなぐ教師のコーディネート
  - D 座席表の活用
- <終末>
  - E キーワードの活用
  - E 構造的な板書を活用したまとめ
  - E 自己評価表の活用や視点を明確にした振り返りの記入
  - F 目標の達成状況をみる評価問題

手立てが必要な場面→手立ての例→手立ての具体例を参考にしましょう。(P. 7)

**【手立ての文型】**  
～について  
(学習内容)  
～することにより  
(具体的手立て)  
～ようにする  
(目指す姿)



## 整合性は図られていますか？手立ては明確ですか？

☆ 指導案において、単元の目標、評価規準、本時の目標（ねらい）、学習課題（めあて）、  
 まとめて**整合性**が図られていますか。また、**手立て**は具体的で明確ですか。

### ＜整合性を見るポイント＞（指導案例）

1 単元名 「面積のはかり方と表し方」小4算数科

2 単元について

(1) 教材観  
 (2) 児童観  
 (3) 指導観

3 単元の目標

◎ 面積について単位と測定の意味を理解し～

○ …… 【関心・意欲・態度】

○ 面積は、量や乗法の学習を基に単位の何個分で数値化して表すことや、**辺の長さを用いて計算で求められることを考え、とらえることができる。**

○ …… 【数学的な考え方】

○ …… 【知識・理解】

4 指導計画と評価規準（総時数11時間）

| 次 | 時 | 主な学習活動                                      | 評価規準  |
|---|---|---|---|
|   | 5 | 複合図形を分けたり付け足したりして長方形の面積の公式を活用して複合図形の面積を求める。 | <b>長方形の面積の公式を活用できるように、複合図形の面積の求め方を考えている。（考え方）</b> |

5 本時の目標

**複合図形の面積を求めることについて、長方形の面積の公式を活用し、図形を分割したり、付け足したりすることにより面積の求め方を考えることができる。**

6 指導過程

| 学習活動・内容   | 時 | 手立ての具体例 ○よい●悪い   |
|---|---|--|
| 1 既習を振り返り、本時の課題をつかむ。<br>(1) 前時の学習内容を振り返る。<br>(2) 課題をつかむ。<br><b>どうすれば面積を求めることができるだろうか。</b> |   | A○前時の学習を振り返り、その後未習の問題を提示することにより疑問をもたせ、本時のめあてをつかむようにする。   |
| 2 解決の見通しをもつ。  |   | B○使えそうな既習事項を振り返り正方形、長方形をもとに考えさせることにより、解決の見通しをもてるようにする。   |
| 3 自分の考えた方法で面積を求める。<br>・3つの長方形に分ける方法<br>・横に2つに分ける方法<br>・縦に2つに分ける方法<br>・大きい長方形から小さい長方形を引く方法 |   | C○自力解決できない児童を集め、小黒板を使って分割する方法のヒントを与えることにより、自力解決ができるようにする。<br>C○面積の加減計算で解決できた児童に対しては、もう一つ同じ複合図形を与えることにより、倍積変形による考え方で解決できるようにする。 |
| 4 全体で比較検討を行う。   |   | D●子どもたちの考えた方法を画用紙に書かせて黒板にはり、比較検討をする。   |
| 5 違う問題でも方法が使えるか試す。  |   | E○板書のキーワードをもとに学習内容を振り返らせ、自分の言葉でまとめをさせることにより、学んだ実感をもてるようにする。  |
| 6 本時のまとめをする。<br><b>分けたりつけたりして長方形にすれば、公式を使って面積を求めることができる。</b>                              |   | E●学習感想を書かせて振り返りをする。  |
| 7 適用問題をする。  |   |  |
| 8 学習の振り返りをする。   |   |  |

児童の実態として、「算数が好きな児童が○人」とか、「進んで発表できない児童が多い」など、教科に対する情意面や授業の全般的な実態等だけにとどまっていることはないでしょうか？ 本単元で生かしたい子どものよさや既習の定着の程度等をつかんでいるからこそ、指導観で具体的な手立てにおろしていくことができます。

本時の目標に迫るために、どんな手立てを用いて学習活動を行わせるのかを具体的に書きます。

自力解決のために既習のどんな考え方を使うのかが分かります。

つまづいている子どもがどのように課題解決を図るのが分かります。

力をさらに伸ばす発展的な考えにつながる手立てとなっています。

子どもたちの考えを画用紙に書かせ、どのように比較検討してねらいに迫るのか、具体的な支援がほしい。

学習感想を書かせるだけでは手立てとは言えない。どんなことを書かせるのかの視点がほしい。

